

レポート/ダッシュボードの所有権を変更するためのCUICの設定

内容

[概要](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

概要

このドキュメントでは、オブジェクトが別のユーザによって作成された場合に、Cisco Unified Intelligence Center(CUIC)のダッシュボードまたはレポートの所有権を変更または移転する手順について説明します。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- CUIC 11.6
- UCCE 11.6

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

CUICには、所有権と権限を変更する既知の制限があります。

[CSCuu48149](#)

レポートとダッシュボードを再作成する必要がありますが、他に方法がない場合は、この手順を実行します。

問題

オブジェクトが別のユーザーによって作成された場合に、ダッシュボードまたはCUICのレポートの所有権を変更または移転する方法は？

解決方法

注：テーブルを更新する前に注意してください。課題を開始する前に、完全なDRFバックアップを取ってください。

ステップ 1 :

CUICサーバ (パブリッシャ) へのSSH

ステップ 2 :

CUICUSERテーブルから、要求されたユーザのユーザIDを検索します。名前または姓または姓で行うことができます

sql Select * from cuic_data:cuicuser where firstname like '%AcuraTest%'を実行します

出力 :

2614127410000164000000560AC9E249

cuicuser → id, version, name, description, partition, defaultgroupid, sharingpermission, alias, firstname, lastname, organization, emailaddress, contactphone, cuicroles, timezoneid, isactive, startoftheweek, ssoaccountname

ステップ 3 :

owner=userIDのフィルタを使用したダッシュボード、レポート、レポート定義のクエリテーブル

sql select * from cuic_data:cuicreportを実行します。所有者は '2614127410000164000000560AC9E249'です。

sql select * from cuic_data:cuicdashboardを実行します。オーナーは '2614127410000164000000560AC9E249'です。

sql Select * from cuic_data:cuicreportdefinition where Owner like '2614127410000164000000560AC9E249'

sql Select * from cuic_data:cuicvaluelist where Owner like '2614127410000164000000560AC9E249'

sql Select * from cuic_data:cuiccollectionを実行します。所有者は '2614127410000164000000560AC9E249'です。

cuicreport → id, parentcategoryid, name, description, version, reportdefinitionid, defaultfilterid, cisco, bypass, layout, partition, sharingpermission, owner, url, templatehelpid, entityversion, author, lastusedby

cuicdashboard → id、parentcategoryid、名前、説明、バージョン、パーティション、sharingpermission、enablepermalink、owner、lastused、lastusedby

cuicreportdefinition → id、parentcategoryid、名前、説明、datasourceid、type、statementtext、keycriterafieldid、historicalkey、refreshrate、historical、cisco、version、sharingpermission、owner、entityversion、author、entitylocaleid、used、lastusedby

cuicvaluelist → id、version、name、valuelistquery、collectionquery、description、datasourceid、type、partition、sharingpermission、owner、entityversion、entitylocaleid

cuiccollection → id、version、name、description、valuelistid、collectiontype、collectionidentifier、wildcardstring、autoupdate、latoupdate、lastrefreshed、refreshperiod、partition、sharingpermission、owner、isactive、collectionorigin、replicated

ステップ 4 :

新しいユーザと古いユーザの両方に対して、次の手順を実行します。ownerIDをメモします。

ステップ 5 :

各テーブルの構文を使用してください。cuicreport、cuicdashboard、cuicreportdefintion、cuicvaluelist、cuiccollectionを変更します。

例 :

sql update cuic_data:cuicdashboard set owner = newUserID WHERE id="dashboardID"を実行します。